

■ Windows版 Outlook2019/2021設定手順

○ 概要・説明など

Outlook2019を利用して、教育用メール(ns)や研究用メール(sin)のメール送受信を行うための設定手順です。

手順書内のイメージ画像はOutlook2019ですがOutlook2021の場合も手順は同じです。

○ 手順書更新履歴

手順書作成日(第一版)	2019/11/13	作成	大杉	新規作成
	2022/11/16	更新	大杉	2022年新システム対応

目次

■ Windows版 Outlook2019/2021設定手順	1	-
○ 概要・説明など	1	-
○ 手順書更新履歴	1	-
【1】Outlookを利用するにあたり	2	-
【2】アカウントの追加手順	3	-
【3】POP/IMAPのメリットと選択について	12	-

【1】Outlookを利用するにあたり

教育用メール(ns)、研究用メール(sin)共にWEBメールシステムとなっており、以下のURLにアクセスすることで、ネットワークに接続されているコンピュータであれば学内・学外※問わずメールの送受信が出来るシステムとなっています。

教育用メール(ns) : <https://mail.ns.kogakuin.ac.jp/>

研究用メール(sin) : <https://sin.cc.kogakuin.ac.jp>

※一部海外のネットワークではインターネット接続に制限が設けられている場合がありますので渡航前に確認をしてください。

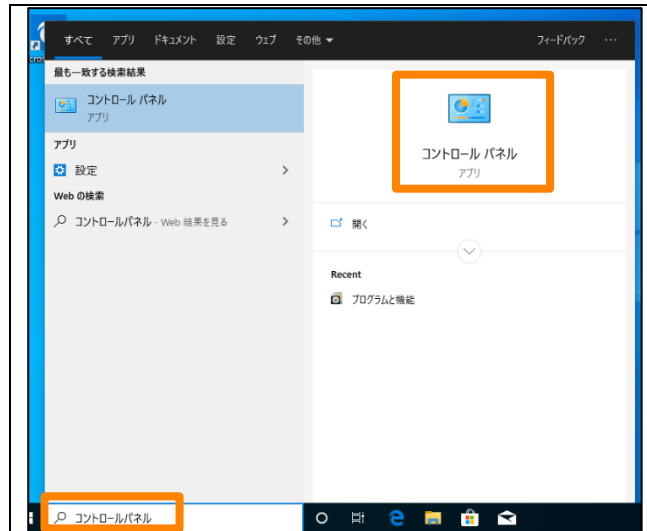
当手順はOutlookを利用して教育用メール(ns)、研究用メール(sin)を送受信するための設定手順となります。

【2】アカウントの追加手順

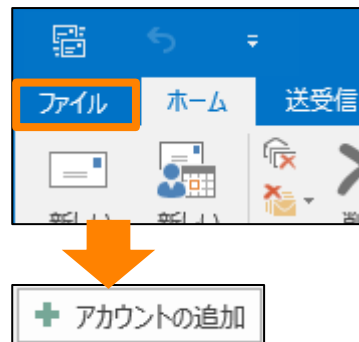
教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)用のアカウントを新規追加する手順です。

2-01. Windowsの検索窓から[コントロールパネル]を検索して起動させます。

既にOutlookを利用して新規にアカウントを追加する場合は、Outlook起動後メニューにある[ファイル]→[アカウントの追加]をクリックしてください。その後手順2-05へ進んでください。

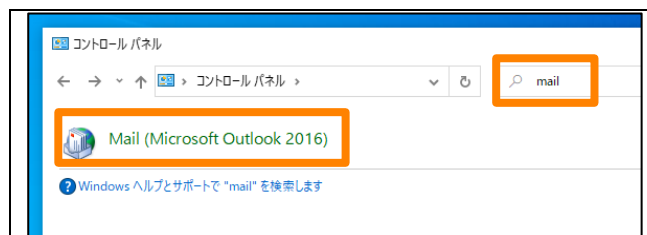


既にOutlookを利用されている場合

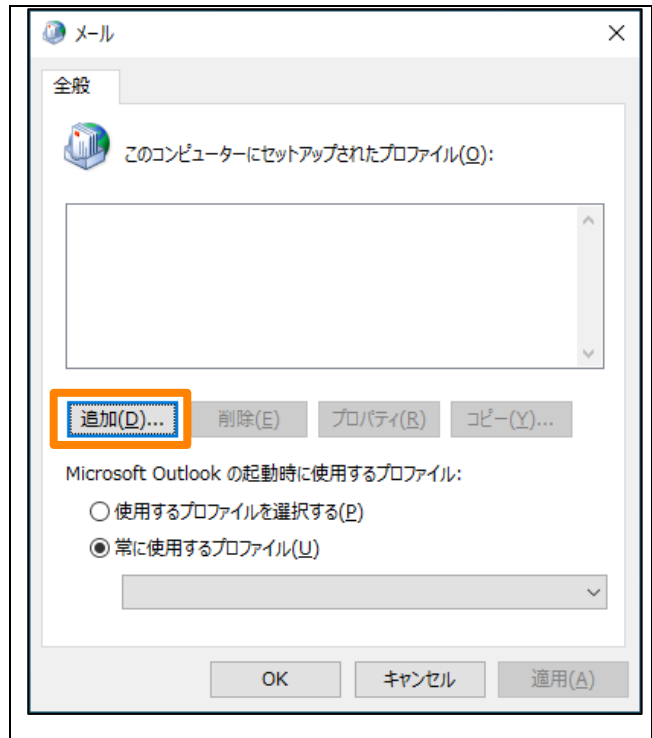


2-02. コントロールパネルの検索窓から[mail]と検索します。[Mail(Microsoft Outlook 2016)]が検索結果として表示されるのでクリックします。

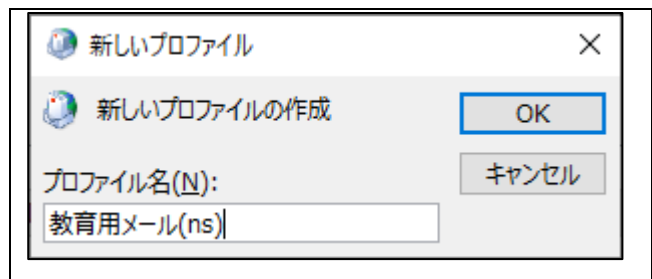
※Office2019をインストールしてもここでの表記は2016です。



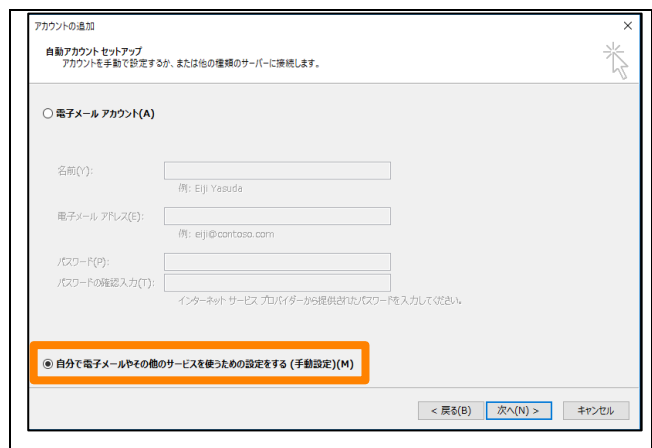
2-03. **追加**をクリックします。



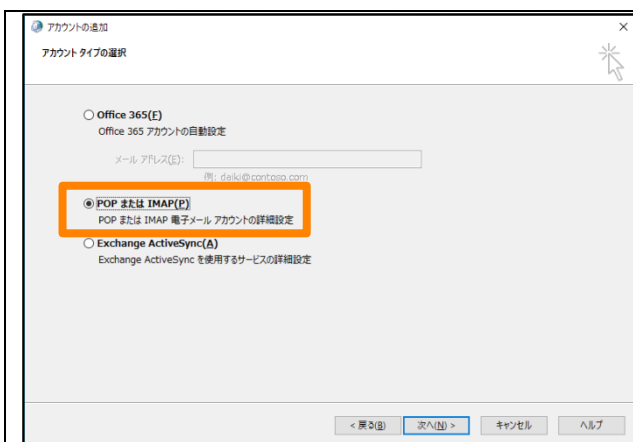
2-04. わかりやすい名前をつけて**OK**をクリックします。



2-05. **自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)**を選択し**次へ**をクリックします。



2-06. POPまたはIMAPを選択し次へ
をクリックします。



2-07. 以下の通り入力してください。

※POP3を利用するか、IMAPを利用するかは、【3】POP/IMAPのメリットと選択について をご一読ください。

【 POP3の設定手順 】

※IMAPを利用される方は(2-12～2-17)を参照してください。

<ユーザー情報>

名前：

送信者名として表示されます

電子メールアドレス：

教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)

<サーバー情報>

アカウントの種類：

POP3

受信メールサーバー：

以下のいずれかを入力します。

教育用メール(ns)を利用する場合は

mail.ns.kogakuin.ac.jp

研究用メール(sin)を利用する場合は

sin.cc.kogakuin.ac.jp

送信メールサーバー：

受信メールサーバーと同じ。

<メールサーバーへのログオン情報>

アカウント名：

統合認証アカウントのID

パスワード：

統合認証アカウントのパスワード

入力が終わりましたら[**詳細設定**]をクリックしてください。

2-08. **「送信サーバー」**のタブを開き、**「送信サーバー(SMTP)には認証が必要」**に**「✓」**を入れ、**「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」**を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

2-09. **「詳細設定」**タブの設定項目は以下の通りです。

受信サーバー(POP3) :

995

このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要 :

✓

送信サーバー(SMTP) :

465

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

設定が完了しましたら**「OK」**をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 995 標準設定(D)

☒ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 465

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☒ サーバーから削除する(R) 14 日後

☐ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

2-10. **次へ**をクリックします。

アカウント設定のテスト(T)

☒ **次へ** をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

2-11. 送受信のテストが行われます。どちらも状況欄が**完了**であれば問題ありません。**閉じる**をクリックしてください。

2-12～2-16の手順は2-07でIMAPを選択した方の設定手順です。POP3を選択した方は不要です。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク

エラー

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

2-12. 以下の通り入力してください。

※POP3を利用するか、IMAPを利用するかは、【3】POP/IMAPのメリットと選択について をご一読ください。

【 IMAPの設定手順 】

※POP3で設定を行った方は(2-12～2-16)の手順は不要です。

<ユーザー情報>

名前 :

送信者名として表示されます

電子メールアドレス :

教育用メール(ns)、または研究用メール(sin)

<サーバー情報>

アカウントの種類 :

IMAP

受信メールサーバー :

以下のいずれかを入力します。

教育用メール(ns)を利用する場合は

mail.ns.kogakuin.ac.jp

研究用メール(sin)を利用する場合は

sin.cc.kogakuin.ac.jp

送信メールサーバー :

受信メールサーバーと同じ。

<メールサーバーへのログオン情報>

アカウント名 :

統合認証アカウントのID

パスワード :

統合認証IDのパスワード

入力が終わりましたら【詳細設定】をクリックしてください。

2-13. **「送信サーバー」**のタブを開き、**「送信サーバー(SMTP)には認証が必要」**に**「✓」**を入れ、**「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」**を選択します。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

☐ 次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする(I)

OK キャンセル

2-14. **「詳細設定」**タブの設定項目は以下の通りです。

受信サーバー(IMAP) :

993

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

送信サーバー(SMTP) :

465

使用する暗号化接続の種類 :

SSL

設定が完了しましたら**「OK」**をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (IMAP)(I): 標準設定(D)

使用する暗号化接続の種類(E):

送信サーバー (SMTP)(O):

使用する暗号化接続の種類(C):

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

フォルダー

ルート フォルダーのパス(F):

送信済みアイテム

☐ 送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)

削除済みアイテム

☐ アイテムを削除対象としてマークするが、自動的に移動しない(K)

削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。

☒ オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)

OK キャンセル

2-15. **次へ**をクリックします。

アカウント設定のテスト(T)

☒ **次へ** をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

2-16. 送受信のテストが行われます。どちらも状況欄が**完了**であれば問題ありません。**閉じる**をクリックしてください。

以上で、アカウントの追加が完了しました。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。 **閉じる** をクリックして続行してください。

中止(S)

閉じる(C)

タスク

エラー

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (IMAP) へのログイン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

【3】POP/IMAPのメリットと選択について

POPのメリット

POPのメリットは、サーバーからメールを受信してしまえば、インターネットに接続していなくてもいつでもメールを読むことができ、大量のメールでもメールを保存するパソコンの容量の許す限り保存しておけることです。

- メールがローカルのパソコンへ保存されるため、例えばインターネット接続していない状態でも過去に受信したメールを読むことが出来ます。
- インターネット接続が必要なのはメールの送受信を行う時のみです。
- メールを保存するために必要なサーバーのディスク容量の心配がありません。

IMAPのメリット

IMAPのメリットは、サーバー上に保存しているメールを大学・自宅などの複数の場所からアクセスして読むことが出来る点です。パソコンでメールを保管していてもパソコンが壊れてしまえば全て読めなくなります。メールのバックアップ運用が苦手な方はサーバー上で保管した方が大切なメールを失う可能性が低くなります。

- メールの実態はサーバー上で管理されるため、複数の異なる場所から同じメールボックスへアクセスできます。
- パソコンが壊れても、メールがなくなる心配はありません。
- サーバー上に作成したフォルダ構成は、IMAPであればどこでも同じフォルダ構成でアクセスできます。

POPを選択するケース

- メールを送受信を一カ所から(大学のパソコンにインストールされているOutlook等)一つのクライアントのみで行う事を想定している場合
- インターネット接続できないことが想定できる場合や、インターネット接続ができない環境であっても過去のメール確認が必要になる場合
- 大量のメールを管理する必要がある、サーバーのディスク容量では足りない場合

IMAPを選択するケース

- サーバー上にメールを保管し、複数の場所や、複数のメールクライアント・端末からメールへアクセスする運用を想定している場合
- インターネット接続が常時行える環境の場合
- サーバーのディスク容量で間に合う場合
- パソコンの故障やデータのバックアップを懸念している場合